

# セボネ

タガヤ ランティア ネットワーク  
Setagaya Volunteer Network

特集

P.2-5

学生の「やってみたい」が、  
社会とつながる一歩になる



ナツボラのプログラムの様子  
学生が車いすから見える世界を体験しています

まちの市民力

P.6 ~カフェからはじまる若者の居場所づくり~

NPO 法人 GreenWitch



せたがやキラリ人

P.7 ~「びちびち」がひろがる社会に~

淵上 周平さん



おたがいさまビュー P.8-P.11

6/28(日) 災害ボランティアコーディネーター養成講座(基礎編) @昭和女子大学  
ボランティア募集、講座・イベント・その他お知らせ

# 学生の「やってみたい」が、社会とつながる一歩になる



ナツボラの受付の様子

「夏休みに何か新しいことをしてみたい」、「進路を考えるきっかけがほしい」、「地域と関わってみたい」そんな学生たちの思いを受け止めているのが、世田谷ボランティア協会が実施する「ナツボラ」と「ナツボラ・ジュニア」です。

特に学生世代にとって、地域活動は身近なようで遠い存在です。勉強や部活、はたまたアルバイトに追われる日々の中で、「社会と関わりたい」という思いがあっても、一歩を踏み出すきっかけを見つけないのは簡単ではありません。

毎年、多くの小学生・中学生・高校生・大学生が参加し、高齢者や障害者施設、保育園、地域イベント、環境活動など、さまざまな現場で「ボランティア」を体験しています。これは単なる「夏休みの体験活動」ではありません。人と出会い、自分の知らなかった地域を知り、自分自身の変化に気づく。そのような小さな成長の場にもなっています。

## 「ナツボラ」—自分の気づきを得る

ナツボラは、中高生から概ね30歳ぐらいまでの青少年を主な対象にしている夏のボランティア体験プログラムで、昨年は区内99か所の施設・団体で受け入れに協力いただき、延べ184名の参加がありました。

参加者には、ナツボラの活動に入る前にオリエンテーションを受けていただきます。ここでは、ボランティアの意義や、活動する際のポイントや心構え、社会でのマナーをお伝えしています。コミュニケーションの基礎となる挨拶や、受入団体に電話で連絡する際のマナーなども、実習を交えて学びます。これらは、ナツボラが、受入団体とおたがいに気持ちよく活動することにとどまらず、社会人として大切なことを学ぶ初めの一歩になってもらうためにも行っていることです。受け入れ先の施設や団体にも事前のオリエンテー



オリエンテーションで、  
電話のかけ方やマナーを教えています

シオンを受けていただき、初めての社会を体験する学生を温かく迎える体制を整えています。

高齢者施設で利用者と話をした学生は、「最初は緊張して何を話していいかわからなかったけれど、昭和クイズで昭和の世代の人々のことや、昭和に起きたいいろいろな出来事を知れたことが楽しかったです。聞くうちに時間を忘れていた」とふりかえります。

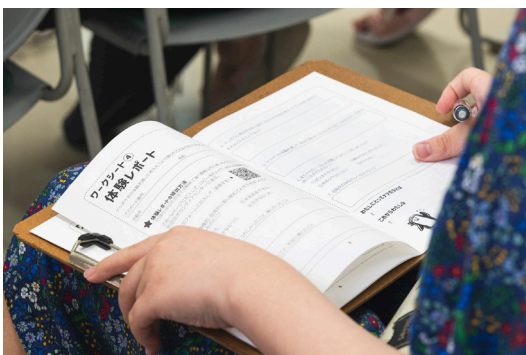
また、障害者施設に参加した学生は、「施設内でお祭りがあった際に、利用者の方が、「一緒に行



参加者一人ひとりに丁寧に寄り添います

こう』と手をとってくださいましたのがとても嬉しかったです。また、いろんな質問をしてくださいたり、逆に教えてくださったりと、多くのコミュニケーションが取れたことが何より楽しかったです。」という体験を報告してくれました。

ナツボラの魅力は、「体験して終わり」ではないところにあります。初めての参加をきっかけに継続的に活動へつながる人もいます。「将来、保育士になりたいので保育園に行ってみました。



オリエンテーションで配布する資料と一緒に確認します

保育士の仕事はネットの情報でできない仕事だと書かれていて少し不安でした。実際、職員の皆さんは大変そうでしたが、とてもやりがいをもって仕事をしていました。それを見て、改めて自分も保育士になりたいと決心するができました。ナツボラとしてのボランティアは終わりましたが、引き続き、その園でお手伝いしています。ナツボラに参加してよかったです。」という学生もいました。ボランティアが自分の将来の決め手になることもあるのです。

## 「ナツボラ・ジュニア」 子どもたちの「地域デビュー」

「ナツボラ・ジュニア」は小学生向けの夏の体験プログラムです。体験を通じて、地域内での支え合いの心や生きる力を育むことをめざしており、地域清掃や高齢者施設での福祉体験、障害がある人のサポート体験などのプログラムがあります。昨年は区内25か所の施設・団体で受け入れていただき、延べ156名の参加があり、子どもたちが地域の人や社会と出会う貴重な機会になっていきます。

活動に参加した子どもたちは、最初こそ緊張した表情を見せます



ナツボラ・ジュニア参加者が  
福祉施設で活動中の様子

が、体験が進むにつれて少しずつ変化していきます。「ごみ拾いをしたら、街がきれいになってうれしかった」、「車いすを押しみて、段差が大変だとわかった」、「知らない人に『ありがとう』って言われてうれしかった。」そんな素直な感想には、「誰かの役に立つ経験」が確かに刻まれています。

そして、参加する子どもたちだけでなく、受け入れる側にも変化をもたらしています。「子どもたちが来ると場が明るくなる」、「若い世代と話せるのがうれしい」そのような声が、地域の現場からも聞かれます。

ボランティアは、大人だけのもの



公園で車いす体験

のではありません。子どもの頃から地域と関わる経験は、自分とは異なる世代や立場の人を知り、多様な価値観に触れ、社会との関わり方を学ぶ機会でもあります。小さな一歩が、未来を変えていく。世田谷ボランティア協会では、長年にわたり「誰もが地域に参加できる入口」を大切にしてきました。

## 「学生ボランティアネットワーク」 「学生だからできることがある」

世田谷区内には数多くの大学（隣接区含め17の大学・学部）があり、学生が積極的にボランティア活動を行っています。これらの団体と区（市民活動推進課）が「せたがや学生ボランティアネットワーク」を構築しています。世田谷ボランティア協会は、このネットワークの事務局を務めています。

本年度は12の団体がネットワークに参加しています。学生団体の活動内容は幅広く、福祉施設での交流活動、子どもの学習支援、地域イベントの運営補



せたがや学生ボランティアネットワーク会議で話し合う大学生

助、防災活動、国際交流、オンラインでの情報発信などさまざまです。ネットワークでは、ボランティア活動に関する情報交換や意見交換を行いながら、地域活動団体との連携も進めています。

活動の一環として、区内で活動する学生ボランティア団体が集まって活動発表を行う「せたがや学生ボランティアフォーラム」を毎年開催しています。フォーラムの内容はポスターセッション、トークセッション、ワークショップなど回数により異なりますが、特徴的なのは「学生が主体」であること。単に与えられた役割をこな



せたがや学生ボランティアフォーラムで地域活動団体の皆さんと交流しました

すのではなく、「自分たちで企画して、地域の方たちに発信している」という声が自然と生まれていきます。

このフォーラムの機会に学生団体と地域活動団体がつながって、連携して地域のために活動を開始している例もあります。

**学生の「やってみたい」が、社会とつながる一歩になる**

ボランティア活動を通して得られるのは、社会経験だけではありません。学校や年代を越えた仲間との出会い、自分の価値観の変化、



学生団体の活動を発表する様子

地域とのつながり。学生たちは、ボランティアを「誰かのため」だけではなく、「自分の世界を広げる場」として受け止めています。自分自身の可能性に気づく機会でもあります。

学生たちの小さな一歩は、ときに地域を動かし、世代を超えたつながりを生み出します。そしてその経験は、きつとこれからの世田谷の未来を支える力になっていくはずです。世田谷ボランティア協会は、これからも「おたがいさま」の気持ちを大切に、する活動を進めていきます。

# まちの市民力

街の中で地域やそこで暮らす人たちと一緒に活動している団体を紹介します。  
寄稿・市川 徹

## ~カフェからはじまる若者の居場所づくり~ NPO 法人 GreenWitch



緑が特徴の  
Green Witch TEA HOUSE

世田谷・粕谷の住宅街にふと現れる小さなカフェ「Green Witch TEA HOUSE」。2022年9月にオープンしたこの場所はカフェでありながら、レンタルスペースや相談の場としての機能も併せ持っています。そしてここを拠点に若者の居場所づくりに取り組んでいるのがNPO法人Green Witchです。代表の宇津恭子さんにお話を伺いました。

なく、もう一度社会とつながる機会がないまま支援の窓口をたらい回しになってしまいうこともある。そんな現状を前に、ここで何かできないかと考えたのが始まりでした。

活動の特徴は「支援の場らしさ」をあえて前面に出していないこと。対人関係に不安を抱える若者でも入りやすいよう、店内はおしゃれでやわらかな雰囲気を整えられています。カフェではハーブを取り入れたメニューを提供しており、お茶を飲みながら自然と会話が生まれ、支援というより癒やしや日常の延長として人とつながることを大切にしているそう。「まずはお茶やごはんを通じて、スマートフォンステップで関わってほしい」と言います。

そのほか、若者向けのイベントや親の会、当事者同士の交流の場なども開かれています。利用者がスタッフとして役割を持つことで自信を取り戻していく姿も見られたとか。「人に教える立場になることで自分にもできることがある

と気づく」と言います。若者支援はどうしても関わりが途切れがちで必要な人に届きにくいというジレンマも抱えています。それでも宇津さんは、地域の支援者同士がつながることでより深い支援ができるのではと考えています。

「生きやすい方向を一緒に探していきたい」。8050（ハチマルゴーマル）問題などが社会課題となる中で、もっと早い段階からの関わりが大切と宇津さんは話します。カフェという日常的な場から始まる小さなつながり。その積み重ねが誰かの次の一歩を支える力になる。Green Witchは地域の中で静かに、しかし確かに「居場所」を育てているように感じました。みなさんもぜひ一度カフェを訪れてみてはいかがでしょう。



若者向けフードチケットのチラシを持つ宇津さん

Green Witch TEA HOUSE

住所：世田谷区粕谷 1-11-22 TEL：03-6379-8835  
営業時間：月・火・水・金・土 11:00～19:00 (L.O. 18:40)  
定休日：木曜日、日曜日

<カフェ>



<若者支援>



2026.6.1 No.266・SEVONE

# せたがやキラリ人

世田谷区を中心に活躍する  
キラリと光る素敵な方がたをご紹介します  
取材・花田 朋美



～「ぴちぴち」がひろがる社会に～

淵上 周平さん  
ふちがみ しゅうへい

世田谷在住で編集者の淵上周平さんは、現在下北沢で「平放学舎」という塾を開いています。ただ勉強をみるのではなく、10代の子どもたちが自分の大事にしたいことや、好きなこと、これからの未来をどう描くか、そんなことをお話ししながら一緒に引き出していくこととする塾です。

その塾が生まれるきっかけとなったのは、淵上さんの二人のお子さんが通っていた下高井戸にある大きな木保育園での子育てでした。保育園では子どもたちと一緒に遠足に行ったり体操したり、親も主体的に活動に参加していました。

また、拠点となっていた羽根木プレーパークでは、世話人や自主

保育の母たちが子どもを見守りながら元気をもらっていたり、おもしろいことをしているのを見てきました。そこには、「みんなでみんなの子どもを育てる」という子どもをめぐる生態系のようなものがあり、その経験が平放学舎にもつながっていると感じているそうです。

平放学舎に来る10代の子どもたちは、親や社会からの期待やプレッシャー、友達との人間関係にエネルギーをとられていて、そこで感じている違和感や悩みを相談できる人が身近にあまりいないそうです。淵上さんは、社会や学校から求められるのではなく、自分の大事にしたいこと、好きなもの、つくりたい未来にフォーカスして、子どもたちとたくさん話をしていきます。

『「ぴちぴちしたもの」を思い出したら、言葉にしたり、言葉以外の表現をしながら、社会につながっていく「線」をいっしょにつくっています。この『ぴちぴち』とは、みんなの根っこにある生き

生きしたもの、やりたいという気持ちとか欲望みたいなもの。』

「平放学舎は子どもたちだけではなく、以前子どもだった大人たちも、今となっては忘れがちな『ぴちぴち』を思い出して、いろんな世代と一緒に学び合って変わっていきけるような場所を目指しています。」と淵上さんは熱く語られました。

また、淵上さんにはダウン症の娘さんがいます。そのような障がいがある子どもたちと関わることも、大変なこともあるけれど、とてもおもしろいので、その喜びを知らない人たちともつながっていたら、とも考えているそうです。

まずは世田谷の小さなコミュニティから、いろんな背景をもつ子どもたち、元はこどもだった大人たちが互いに刺激を受けあい、いろんな『ぴちぴち』が広がっていったらステキな社会に、未来になりそうです。そんな願いが平放学舎にはたくさんつまっていました。

## 高齢男性の発語練習をサポートして下さる方を探しています

脳梗塞の後遺症で右半身麻痺と失語症のある 80 代の男性が、発語の練習のために一緒に歌を歌ってくれる方を求めています。ご本人は、好きな唱歌や昭和の歌謡曲を歌うと言葉が出やすくなるので、上手に歌うのではなく、「言葉が出るように」「ゆっくりと」一緒に歌を楽しんでくださる方をお願いしたいです（性別不問）。詳細はお問い合わせください。

- 日時/週 1 回（月・木曜のいずれか、15時から40分程度）
- 場所/用賀 1 丁目の高齢者施設
- 交通/東急田園都市線用賀駅下車徒歩約 10 分
- 謝礼/1 回 1,000 円（交通費込み）
- 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当：原口  
TEL：03-5712-5101 メール：haraguchi@otagaisama.or.jp

## 部屋の掃除をして下さる方を求めています

下馬にお住まいで、障害により重いものを持ちたり、かがんだり、立ちっぱなしでいることがむずかしい方が、部屋の掃除（掃除機・雑巾がけ・お風呂・トイレ・玄関）をしていた方を求めています。ほかに、押し入れの荷物（衣類など）の出し入れなどもお願いしたいです。詳細は下記問い合わせ先までおたずねください。

- 日時/相談のうえ決定 1 回 1 時間 月 1 回
- 場所/下馬のご自宅
- 交通/東急田園都市線、東急世田谷線三軒茶屋駅下車徒歩約 15 分
- 条件/20～50 代の方。交通費実費相当額支給（上限あり）
- 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当：原口  
TEL：03-5712-5101 メール：haraguchi@otagaisama.or.jp

## 温水プールの送迎をして下さる方を探しています

知的に障害のある 30 代女性が、体力作りのために大蔵の総合運動場の温水プールに通っています。プール更衣室まで行けば、水泳指導の方が引き継いで泳ぎの指導をしてくれますが、プールまでの送迎と更衣室での見守りが必要です。この送迎と見守りをしていただけませんか。ご自身が水着にならなくても結構ですが、もちろん、待ち時間はプールを楽しんでいただいても構いません。今まではお母さんが送迎をしてきましたが、ご家庭の事情でお母さんが連れて行くのがとても困難になりました。女性が大好きなプールに月 1 回だけでも連れて行っていただけると助かります。帰りの時間など詳しくはお問合せください。ご連絡お待ちしております。

- 内容/自宅（奥沢）～総合運動場温水プール（大蔵）の送迎と更衣室での着替えの見守り
- 日程/日曜日。月 3～4 回（月 1 回から可）
- 時間/7 時 30 分頃に自宅を出発し、プールに 9 時到着、または 9 時 30 分頃自宅を出発し、プールに 11 時到着
- 送迎/ルートは自宅～緑が丘駅（大井町線）～二子玉川駅～（バス）区立総合運動場
- 条件/女性。体力のある方
- 報酬/1,200 円/1 時間
- 交通費/支給（上限あり）
- 問合せ/玉川ボランティアビューロー  
TEL：03-3707-3528 メール：tamabora@otagaisama.or.jp

## 将棋の相手をしてくださる方を探しています

介護施設で暮らしている 88 歳男性が将棋のお相手を探しています。将棋盤と駒はありません。週 1 回でも、月 1 回でもありがたいです。アマチュア初段以上の方、是非お問い合わせください。

- 日時／火曜日以外の午前中（たとえば 10 時～ 12 時）月 1 回でも可
- 場所／二子玉川駅から徒歩 15 分（二子玉川駅からバス利用も可）
- 条件／アマチュア初段以上、交通費支給（上限あり）
- 問合せ／玉川ボランティアビューロー 担当：市古（いちご）  
TEL：03-3707-3528 メール：tamabora@otagaisama.or.jp

## 就労事業所に通う女性に付き添ってくださる方を探しています

世田谷区内在住の知的に障害のある女性が、自宅最寄り駅から区内就労事業所までの行き帰りに付き添ってくださる方を必要としています。何名か手伝ってくださる方がいると助かります。女性はおとなしい性格の方です。基本的には彼女が移動するのを側で見守っててください。詳しくはお問合せください。よろしくお願ひします。

- 日時／月～金曜 週 1 回から可
- 時間の流れ／【8:30 前後】自宅最寄り駅で待合せ > 【9:00 頃】事業所到着 > 【16:00 頃】事業所にお迎え > 【16:30 ～ 17:00 頃】自宅最寄り駅着  
※自宅最寄り駅は東急田園都市線、事業所は東急世田谷線です。
- 問合せ／玉川ボランティアビューロー 担当：市古（いちご）  
TEL：03-3707-3528 メール：tamabora@otagaisama.or.jp

## 【能登支援】写真洗浄ボランティアを募集

写真洗浄ボランティア「課外のあらいぐま」では、東京でできる被災地支援のボランティアを募集しています。写真洗浄ボランティアとは、水害などで濡れて汚れてしまった写真をアルバムから剥がし、水洗いで綺麗にして持ち主の方へ返却する活動です。かつて東日本大震災や西日本豪雨、2019 年台風 19 号（川崎）の写真洗浄に取り組んできました。この度、2024 能登半島地震及び 9 月豪雨により被災した写真を預かり洗浄します。

小学生以上でしたらどなたでも参加できます。持ち物はカッター・ハサミ・新聞紙などです。インターネット「写真洗浄」で検索すると全国の写真洗浄やメディア記事など出てきますのでイメージが湧きやすいかもしれません。お金では買戻せない大切な写真を救う作業を一緒にしませんか？最新の活動情報等は右下の二次元コードからご確認ください。

- 日時／毎週土曜、または日曜（予定）
- 会場／世田谷ボランティアセンター（下馬 2 - 20 - 14）
- 交通／東急田園都市線・世田谷線三軒茶屋駅徒歩 12 分
- 募集人数／毎回 20 名程度
- 条件／初回 200 円、2 回目以降 30 円負担あり（能登との往復宅配便代、備品代）
- 問合せ／課外のあらいぐま 担当：松浦  
右記二次元コードからお願いします。



上記掲載記事は 5 月 16 日時点の情報です。  
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

## バザー「リサイクル市」を開催します @世田谷ボランティアセンター

世田谷ボランティアセンターでは、恒例のバザーを開催します。収益はボランティア活動推進費として大切にに使わせていただき、「おたがいさま」で結ばれた地域づくりに役立てます。みなさまのお越しをお待ちしています。リサイクル市の詳細については下記二次元コードからご確認ください。

- 日時／6月25日(木) 11時～14時
- 会場／世田谷ボランティアセンター 2階(下馬 2-20-14)
- 交通／東急田園都市線・東急世田谷線三軒茶屋駅下車徒歩約12分
- 取扱品／衣類、衣料雑貨、台所雑貨、アクセサリ、バッグ、食器、おもちゃなど
- ※整理券を当日9時45分から配布します。(配布時間前にお並びになるのは、近隣の方で迷惑になりますのでご遠慮ください。)
- ※当日は、品物の提供は受付していません。
- 問合せ／世田谷ボランティアセンター バザー担当  
TEL：03-5712-5101



## (運転ボランティアに興味のある方へ) 福祉有償運送(認定)運転者講習会

～人と車が好きな方、「運転」で地域に貢献しましょう～ 病院に行きたい、買い物に行きたい、友人に会いたい、でも障がいがあっておでかけが困難…。そんな方たちの手助けを車の運転で気軽に始めるための講習です。

- 日時／6月20日(土)と21日(日) いずれも10時～17:00
- ※2日間の講習です。両日ともご参加ください。※講習修了(認定)証を発行します。
- ※送迎を行うヘルパーや施設送迎の運転者にも本講習の受講が奨励されています。
- 会場／世田谷ボランティアセンター(下馬 2-20-14)
- 交通／東急田園都市線・東急世田谷線三軒茶屋駅下車徒歩約12分
- 受講料／区内在住、または在勤の方6,500円、区外の方10,000円(テキスト代含む)
- 申込み／下記二次元コードからお願いします。事前入金です。
- 内容／福祉送迎や利用者について学び、車いすを乗せての運転の実習など、座学に実習を交えた実践的な講習です。※受講者には運転者を必要とする区内のNPO団体も紹介します。
- 問合せ／世田谷区福祉移動支援センター「そとでる」担当：吉原  
TEL：03-5316-6621 メール：info@setagaya-ido.or.jp



「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティアなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。

## 6/28(日) 災害ボランティアコーディネーター養成講座(基礎編) @昭和女子大学

2026年度1回目となる「災害ボランティアコーディネーター養成講座 基礎編」を昭和女子大学にて開催します！内容は講義・模擬訓練、世田谷区の災害対策、災害ボランティアの活動内容(世田谷方式)等を学びます。

- 日時／6月28日(日) 13時30分～16時30分 ※13時より受付開始
- 会場／昭和女子大学(世田谷区太子堂1-7-57)
- 交通／東急田園都市線・世田谷線三軒茶屋駅徒歩7分 ●参加費／無料
- 申込／6月26日(金)正午までに、右記の二次元コードから、またはメールか電話にてお申し込みください。
- 問合せ／せたがや災害ボランティアセンター TEL：03-5712-5101  
メール：saigai-info@otagaisama.or.jp



## 傾聴ボランティア養成講座 @ 玉川ボランティアビューロー 参加者募集 (全5回)

個人の方と対面で継続的に、傾聴ボランティア活動のための講座です。話すこと・聴くことを、体験学習を通してグループで考え、感じながら学んでいきます。あなたも傾聴ボランティア活動への一歩を踏み出してみませんか？

- 日時 / 6月17日、24日、7月1日、8日、15日(全5回) いずれも水曜日  
13時30分～16時30分
- 会場 / 玉川ボランティアビューロー (玉川 2-1-15)
- 交通 / 東急田園都市線・東急大井町線二子玉川駅下車徒歩約5分
- 対象 / 全回参加できる方。講座修了後、傾聴ボランティア活動を始められる方。
- 定員 / 18名 (先着順)
- 参加費 / 8,000円
- 申込み / 玉川ボランティアビューローへ電話もしくはメールにて  
メールの場合は件名を「傾聴ボラ講座申込」としてください。
- 問合せ / 玉川ボランティアビューロー  
TEL : 03-3707-3528 メール : tamabora@otagaisama.or.jp

## 市民活動・NPO 相談

世田谷区内で活動を始めたい方や、すでに活動している方を対象に団体、個人を問わず、グループ・団体、法人の立ち上げや運営に関する基礎的な相談・情報提供を行っています。相談をご希望の方は問合せください。また会計、税務、契約、社会保険、雇用、法律の専門相談も行っています。(原則として事前予約制です)

- 問合せ / 最寄りのセンター、および各ビューローにご連絡ください。  
電話番号は裏表紙参照、専門相談はセンターにお問い合わせください。

## AI システムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術、経験を生かしたい」「地域で活動したい」という、ボランティア活動をしたい方の経験や意欲などと、サポートを求める方や団体などを、東京大学先端科学技術研究センターが開発したAIシステムによるマッチングサイト(世田谷版G B E R「ジーバー」)で結び付け、経験や希望に合ったボランティア活動を紹介します。

詳細は右記二次元コードからご覧ください。



## 個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生～高校生の個別の学習支援に取り組むボランティアを探して紹介しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重していきます。お気軽にご相談ください。

- 問合せ / 世田谷ボランティアセンター TEL : 03-5712-5101  
メール : v-soudan@otagaisama.or.jp

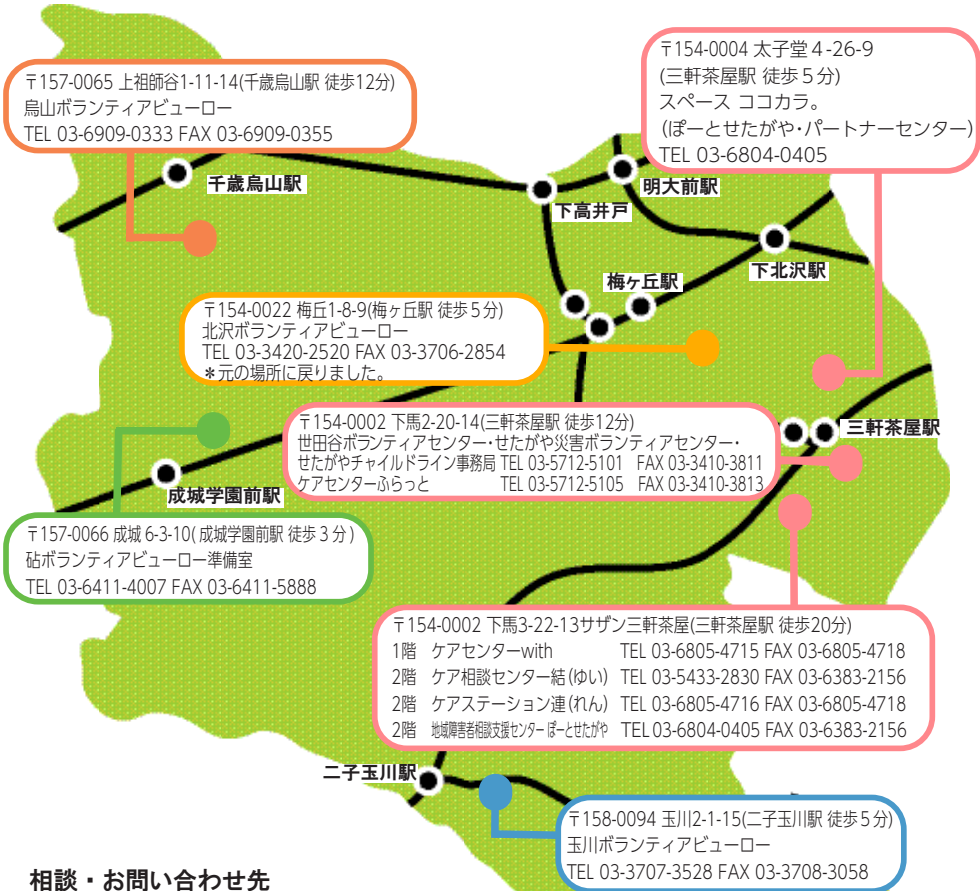
## 個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをつなぐ橋渡しをしています。困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわからないという方は、ぜひご相談ください。電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

- 問合せ / 世田谷ボランティアセンター TEL : 03-5712-5101  
メール : v-soudan@otagaisama.or.jp

上記掲載記事は5月16日時点の情報です。  
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

## 世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点



### 相談・お問い合わせ先

- ボランティアについて ▶ 【世田谷ボランティアセンター、各ボランティアビューロー】  
 災害ボランティアについて ▶ 【せたがや災害ボランティアセンター】  
 リハビリについて ▶ 【ケアセンターふらっと、ケアセンター with】  
 訪問介護について ▶ 【ケアステーション連】  
 介護プランについて ▶ 【ケア相談センター結】  
 障害について ▶ 【ぽーとせたがや、スペース ココカラ。】

協会職員大募集/  
作業療法士 訪問介護員  
支援員 相談員

寄付で社会参加  
ご寄付のお願い

お支払い方法が  
選べます。

- ・ クレジットカード
- ・ Amazon Pay
- ・ 銀行振込

寄付金控除を受けられます



ホームページ



Facebook



Instagram

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。